

広報

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎(2)-1111

◆発行日 毎月1日・15日

◆印刷所 機軸北新聞社

町民意章

からだをきたえ しごとにはげみ

明るい町をつくります

たかのす

No.319・50・9・1



8月20日集中豪雨
 一瞬のうちに濁流!!

(濁流の国道105号線—七日市地内)

各地に悪夢のツメ跡

明利又で一棟流失 三棟全壊

去る八月二十日朝から降り続いた雨は、またたくまに各河川で増水は……
 ……らん、特に小猿部川を中心とした七日市、沢口地区では、この豪雨に……
 ……より各地で堤防や道路の欠壊が相次ぎ、家屋や橋梁の流失など本町に大……
 ……きなツメ跡を残しました。

対策本部を設置

二十日朝から降り続いた豪雨は、短時間のうちに各河川が増水したため、午前十時、役場内に出川町長を本部長とする水害対策本部を設置し、

被害調査と水防活動を開始した。

五部落に避難命令

昼すぎには各河川が増水し、小猿部川と小森川の一部で堤防が欠壊、路面の冠水、道路の欠壊などで道路は通行止め、横測や脇神の部落はあつというまに全戸が水びたし、田圃は一面海原と化した。

対策本部では、消防団員の出動と自衛隊に対し救援を要請、明利又、横測、脇神、堂ヶ岱、舟場の五部落に対して

救助隊も出動

お見舞申しあげます

町長 出川 礼一

二十日早朝から降り始めた雨は、小猿部川を中心に増水となり、七日市、沢口地区を主に家屋の流失や床上浸水、堤防や道路の欠壊、橋梁の流失、農地の埋没、冠水など、人的に物的にも大きな損害をもたらしました。

ここに、心からお見舞申しあげます。
 幸いにして、関係機関や団体、それに各位の適切な判断や措置により人身の事故を免れたことをなぐさめとしております。

なお、道路、橋梁等公的施設については勿論、共同私用施設等の復旧には全力を尽しておりますが、各位におかれましても建物等施設、農作物等については、今後特段の管理を行なわれますよう、この際特にお願ひ申しあげ、併せて復旧の一日も早からんことをお祈りいたします。



▲国道105号線小猿部橋（七日市地内）200メートル上流の堤防が欠壊、またたくまに激流が七日市部落に入り込む。（自衛隊第6師団ヘリから—自衛隊提供）

救援活動

水害を受けた部落からは、対策本部に同夜遅くまで救援要請が出された。

特に、飲料水は欠乏したため要請も多く、水道課では二十日夜十時にタンク車で明利

避難命令を発令した。

一方明利又では、留守番をしていた山口嘉七さんの長女（六年）と長男（二年）が、床上浸水した自宅に取り残されたが、同夜七時、部落民必死の救出作業で救出された。

また、同日早朝、明利又の大湯津内沢の国有林に作業に入った営林署職員二名と、日

通作業員四名は消息不明となっていたため、営林署と日通から七人が救助に向かったが、前に進めないため、同夜十時、小塚武雄消防副団長を救助隊長に十七名を編成、営林署救助隊と合流、救助に向かい一時安否が気づかわれていたが、六名は同夜十一時五十五分に全員無事救出された。



▲田圃は海原、濁流と一緒に流れる枝条と流木—脇神

又に向ったほか、二十一日は朝六時から自衛隊の救援隊と給水活動を行なった。
また、二十日の夜は、要請のあった部落にローソクや日赤奉仕員たちの協力でたき出しを配るなど、対策本部は深夜まであわただしい救援活動が続けられた。

記される。特に、電話がとどえた明利又地区には、アマチユア無線の泉雄次郎さんが危険をおかしてはいり、対策本部に設置した無線器でハム仲間の五代儀昭良さん、五代儀日出男さんと二十一日未明まで交信、被害状況や救援活動に大きな威力を発揮した。

一方町では、全職員が被害状況調査と救援活動、それに復旧計画にあたっておりますが、二十二日には議会の全員協議会を開き、町長から被害報告と今後の対策について協議。さらに、全力をあげて応ずっております。

八月二十二日現在集計の被害額 十九億五千七百万円

対策本部では、集中豪雨による被害状況の調査をすすめていきましたが、二十二日現在のり災者は二千四百二名、三十三十六世帯。被害額は、町の関係が十二億三千六百五十万円、県・国関係の被害額は七億二千七百万円、総額で十九億五千七百万円の額に達しています。

【住宅関係】
▽流失||明利又一戸(五百万円)▽全壊||明利又三戸(一千二百万円)▽半壊||明利又一戸(百五十万円)▽床上浸水||明利又、脇神、岩脇、横溝、七日市本郷など二百三十三戸(四千三百万円)▽床下浸水二百二十一戸(四百万円)

【農林・水産関係】
▽田地百六十ha(四億八千万円)▽橋梁七カ所(八千三百万円)▽水路四千六百七十(三千四百万円)▽道路一千六百(二千五百万円)▽頭首工八カ所(三千四百万円)▽揚水機九十カ所(二

千六百万円)▽林道七十四(六千七百三十万円)▽畑作三十ha(一千二百万円)▽稲作四百三十五ha(二億七千三百万円)▽草地被害(六百万円)▽養鯉(四百万円)

【土木関係】
▽道路十八カ所(三千七百万円)▽橋梁三カ所(五千二百万円)▽河川十四カ所(三千八百万円)

【果関係】
▽河川四十八カ所(三億八千四百万円)▽道路二十二カ所(四千九百万円)▽林道二路線(三百万円)

【国関係】
▽河川四カ所(二億二千六百万円)▽林道(四千八百万円)▽電柱倒壊、流失(一千万円)



▲小森川がはらん、藤株から脇神へはゴムボートで渡る。

【果関係】
▽河川四十八カ所(三億八千四百万円)▽道路二十二カ所(四千九百万円)▽林道二路線(三百万円)

【果関係】
▽河川四カ所(二億二千六百万円)▽林道(四千八百万円)▽電柱倒壊、流失(一千万円)

【果関係】
▽河川四十八カ所(三億八千四百万円)▽道路二十二カ所(四千九百万円)▽林道二路線(三百万円)

【果関係】
▽河川四カ所(二億二千六百万円)▽林道(四千八百万円)▽電柱倒壊、流失(一千万円)

【果関係】
▽河川四十八カ所(三億八千四百万円)▽道路二十二カ所(四千九百万円)▽林道二路線(三百万円)



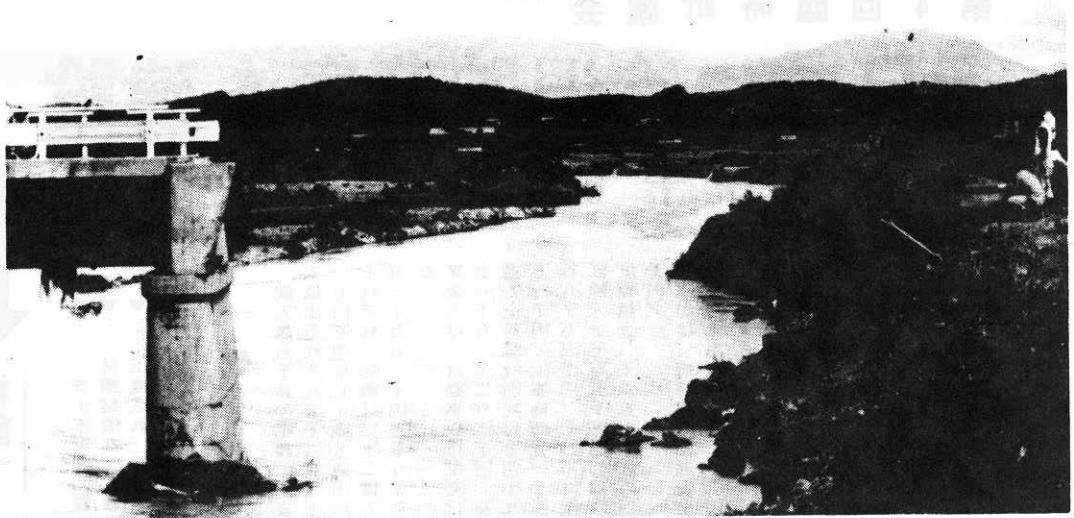
豪雨さり
復旧残る

▲一夜あけ、ただぼう然＝明利又

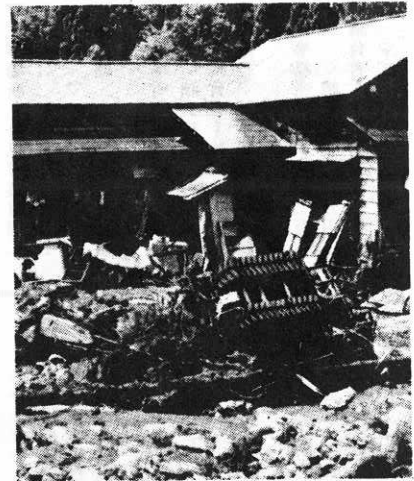
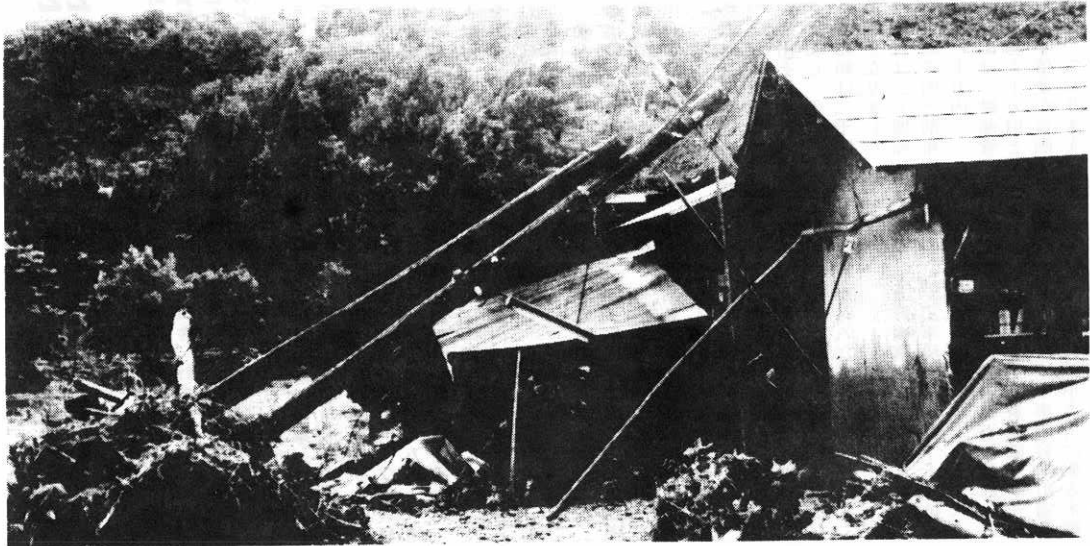
▶ 家屋は倒壊、水田はまるで河原＝明利又



▶橋脚と堤防の土堤がえぐられ、通行不能―中屋敷橋



◀流木で電柱が倒壊―脇神



▲押しよせる濁水で流されたコンバイン＝明利又

災害を受けた方に 所得税の軽減免除

二十日の豪雨で災害を受けた方に「災害減免法」の適用により、所得税が減免または免除されます。

この法は、災害によって住宅や家財について、その価額の二分の一以上の損害を受け、しかもその年の合計所得金額が四百万円以下の場合適用になるものです。たとえば、合計所得金額が

- ▽三百万円から四百万円の場合 税額の半分の軽減
- ▽二百万円から三百万円の場合 半額の軽減
- ▽二百万円以下の場合 全額免除となり、所得税の軽減免除は、来年の三月の確

定申告の時期を待つて適用を受けます。

また、予定納税をしなればならない人は、予定納税の段階で減免の適用を受けることができます。災害のあった日から二カ月以内に、予定納税額の減額申請をしますと、第一期分（七月）から対象となります。いずれの場合も、申請書は大館税務署へ提出することになっております。

なお、手続などについては後日ご相談いたしますので、とりあえず、居宅、家財等の損害を確認し、記録しておいてください。

第4回臨時町議会

七日市に冷温貯蔵庫を建設

一般会計 5千6百80万円を追加

総額で 22億6百35万2千円に

五十一年第四回臨時町議会は、八月五日から九日までの会期で開かれ、…… ▲ 林構林道など工事請負契約三件、一般会計など補正予算三件、計六件が…… ▲ …… ▲ 上提され、それぞれについて審議閉会しました。 …… ▲ …… ▲ 決定した議案は次のとおりです。

一般会計

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ五千六百八十一万円を追加し、歳入歳出のそれぞれの総額は二十二億六千三百五十二千円となりました。

歳入は、自動車取得税交付金一千二百二十二万二千円、交通安全対策特別交付金四十九万一千円、国庫補助金一千四百八十万三千円、七日市財産区繰入金三百五十万円、前年度繰越金二千六百七十九万四千円。

歳出は、総務費の交通安全区画線工事に四十九万一千円、農林水産業費では、七日市に設置する長いも冷温貯蔵庫設置補助二千六百六十二万七千円、畜産業費に三十五万二千円。

土木費には、舗装新設に二千万円、脇神上野地内道路新設改良用地買収に二百六十万円、上野橋ほかに四百四十万円。

教育費では、中央公園下の町民球場の整備に七百二十五万円。

歳入は、全額前年度繰越金六千円となりました。

歳入は、全額が長いも冷温貯蔵所設置の、一般会計への繰出金となっています。

坊沢財産区特別会計補正 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四百五十万円を追加し、歳入歳出のそれぞれの総額は二千四百五十五千円となりました。

歳入は、土地売却収入四百五十万五千円と前年度繰越金の二百六十万円。

歳出は、財産管理費の償還金二百六十万円と、それともなう賠償金が四百五十万五千円となっております。

七日市財産区特別会計補正 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ三百五十万円を追加し、歳入歳出のそれぞれの総額は一千五百八十三万六千円となりました。

歳入は、全額前年度繰越金六千円となりました。

歳入は、全額が長いも冷温貯蔵所設置の、一般会計への繰出金となっています。

坊沢財産区特別会計補正 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四百五十万円を追加し、歳入歳出のそれぞれの総額は二千四百五十五千円となりました。

歳入は、土地売却収入四百五十万五千円と前年度繰越金の二百六十万円。

歳出は、財産管理費の償還金二百六十万円と、それともなう賠償金が四百五十万五千円となっております。

上野橋第一工区架替工事

▽工事場所所 脇神上野地内

▽請負額 一千六百三十八万円

▽請負者 石川建設 石川徳治

▽工事期限 十一月三十日

▽工事内容 町道脇神上野線の小森川に架る木橋を、永久橋に架替えるもので、工事内容は、橋台二基、橋脚

一基、橋床一式、取付道路百九十五延、幅員四・五延、旧木橋解体などです。

ただいま工事中

【道路改良工事】

▽工事場所 大野尻 蟹沢一、二号支線百七十二号

▽請負額 三百十万円

▽請負者 中央建設 近藤薫

▽工事期限 九月十八日

▽工事場所 二本杉 岩谷、西又線三百三十六号

▽請負額 七百七十五万円

▽請負者 大川建設 大川仁吉郎

▽工事期限 九月三十日

【橋梁新設工事】

▽工事場所 脇神上野橋

▽請負額 五百二十五万円

▽請負者 秋北産業社 金沢吉己

▽工事期限 九月三十日

【舗装新設工事】

▽工事場所 舟見町裏町線二百二十号

Table with 2 columns: Date (8月1日, 8月15日, 8月6日, 8月5日, 8月4日, 8月3日, 8月2日, 8月1日) and Meeting/Event (町議会臨時会, 議会運営委員会, 総務常任委員会, 第二十二回秋田県特, 町議会臨時会, 掛泥林間学校, 鷹巣地区消防訓練, 全町子ども会キャン, プ大会開講式, 今泉地区築堤工事打ち合わせ, 地域保健協議会, 工事現場視察, 町内道路視察, 成人式, 鷹巣カントリークラブオープン式典, 大畑永久橋竣工式, 春季職場野球大会開会式, 鷹巣警察署長歡送会, 町議会臨時会, 大館北秋田郡老人クラブ総会, 総務常任委員会, 町内工事現場視察, 第二十二回秋田県特殊教育研究大会, 今泉地区土壌汚染会議)

国民年金

老後を守る国民年金

町では千七百人が受給

九月十五日は敬老の日。毎年の時期になると、各方面からお年寄りの問題が話題になります。

健康の問題、生きがいの問題などはたくさんありますが、やはり中心は生活の費用、収入の問題です。すべてのお年寄りが豊かな老後を過ごすことができれば、国民年金の願いはここにあります。

国民年金の老齢年金には、一定年数以上の掛け金を納めた人が六十五歳になったときに支給される普通の老齢年金と、保険料を納めなくても七

十歳以上のお年寄りに支給されている老齢福祉年金などがあり、秋田県では約九万人が鷹巣町では一千七百六十六人がこれらの年金を受けています。これは、町の六十五歳以上のお年寄りの七十一%にあたっています。

このように、今では国民年金なしで町民の老後生活は語れないといっても過言ではありません。

はじめは非常に安くて、アメ玉年金などといわれていた年金額も、今では十年間掛け金を納めたときの年金(十年年金)で月一万七千六百八

十七円、二十五年間掛け金を納めたときの年金額は月二万八千三百円、また、老齢福祉年金も今月から月一万二千元になるなど、暮らせる年金に近づいてきました。

更に来年度は、国民年金の改定年にあたっていているため、大きな飛躍が予想されています。

さて、年金は長生きしなければ損。今、年金を受けている方々も健康に気をつけて、うんと長生きしていただきたいものです。



10月1日 国勢調査のお願い

この十月一日には、全国いっせいに第十二回目の国勢調査が行なわれます。

国勢調査は、皆さんの明るい暮らしと住みよい町造りのためのいろいろな施策を進めていく上で欠くことのできない基礎資料を得るための調査です。

この調査では、全国の一億一千万を越えるすべての人々にもれなく申告していただくことになっています。

皆さんのお宅へも、九月二十四日から三十日までの間に、調査員が調査表の記入をお願いいたします。

記入していただいた調査表は、十月一日から五日まで、調査員が取り集めさせていただきます。

記入していただいたことは、決して他にもらしたり、統計を作る以外に使うことはありませんので、安心して正しい申告をしてください。よう、ご協力をお願いします。

れる方に、加入促進の督促状を出しております。どうか、現況をおしらせください。すでに加入済の方は、その旨係までおしらせください。

鷹中PTAが 栄誉の全国表彰

去る八月二十七日東京都千代田区霞ヶ関、久保講堂で開かれましたが、席上、鷹巣中学校PTA(高橋勝美会長)が、秋田県ではただひとつ会長表彰を受けました。

学習運動に活用を

人材銀行メンバーそろろう

町の生涯教育推進本部では第二次人材銀行登録者名簿を調整しました。

これは、現在、各種の学習や活動に励む学級や講座、同好的なクラブ、グループなどたくさんありますが、それら学習者の求めがあれば、いつでもどこでもそれに応ずることができるよう、社会教育面での指導に助力していただく方々を、あらかじめ登録しておく体制をとつたものです。

一般文化部門では、郷土文化、政治、法律、社会問題、教育など二十二の種別、スポーツ関係では、野球、陸上競技、スキーなど十九の部門別になっています。

この名簿は、町内の教育施設や部落会、婦人会、農協な

どの備えておりますのでご利用ください。もちろん教育委員会、公民館にご相談にも結構です。

なお、現在登録されておられなくとも、進んでお力添えをしようと思われる方、または「あの方は適任者です」とだれかを推せんくださる場合には、本人の承諾を得たうえで、教育委員会社会教育課から公民館にご連絡ください。第三次登録に役だてることにしております。

第三次登録は、九月十五日を予定しております。

税の窓

贈与税のあらまし

贈与税は、一月一日から十二月三十一日までの一年間に個人から財産をもらった人に対して、そのもらった財産の価額に応じてかかる税金です。しかし、もらった財産の全額に対してかかるのではなく、もらった財産から基礎控除の六十万円を差し引いた残りに税金がかかります。したがって、本年中に個人からもらった財産の価額の合計額が、六十万円以下であれば贈与税はかかりません。

また、特別障害者に対する贈与税の非課税や、婚姻期間が二十年以上の夫婦間の贈与については、基礎控除(六十万円)と配偶者控除(二十万円)を合わせた最高一千万円までの控除が認められる場合もあります。

もらった財産の価格は、もらったときの時価によることになっており、財産の種類ごとにその評価額が定められていますから、くわしいことは大館税務署におたずねください。

殊教育研究会大会―議長、教育民生常任委員長出席
9日 町議会臨時会

みんなの広場



子どもの「かぜ」

広小路

岩川 清美 (34)



土曜日に、「頭が痛くて」と泣きそうな顔で早びけしてきた四年生の娘の姿に、びっくりした。

「まてよ。今日はエレクトロンの練習日、ちよつとサボッたかな。」と思った。

体温をとると三十九度もある。あわてて病院へつれて行った日から、もう三日もなるのにちよつとも熱が下がらない。苦しくてふらふらしながら帰ってきた子を、「サボッタかな」と凝った自分が情けなくなる。

「お母さん、ちよつときて」「冷たいのちよつとだいたい」

「弟がいたずらする」「水枕が熱くなつた」「のどが痛い」

「お薬にがい」……

よくもよくも続くものだと思ふほど、娘の口から要求が続く。

夕飯の仕度の買物客がたてこむ時間になると、もう私の方もヒス気味になって「うるさいなあ。少しがまんしなさい。」とやってみよう。どなつてから「ああ」と思う。

私も子どもの頃は、やはりよく風邪をひいて学校を休んだりした。そんな時の母は：と思ひ出すと、忙しさにつられてどなつた自分がどうにもたまらない。けれども、またどなつてしまふ。

「ごめんね」と心の中ではあやまつても、口には出ない。そして、「三日も休んでは勉強が遅れるなあ。」と言ってしまう。その言葉が、ずいぶん子どもの心を悩ませていることを知っているのに。そしていつのまにやら、子どもにも、私の母にも「店も、家事も忙しいのに」と、甘えてい

みんなの広場は町民みなさんの対話の場としてご利用いただく欄です。ぜひあなたのご意見、ご感想、作品、部落内の出来ことなど、どしどしお寄せください。あて先は鷹巣町役場総務課広報係、お待ちしています。

自分を感してハツとする。今夜は気分が良いらしく、静かな寝息の娘のそばで、そうつと額に手をやってみた。「明日は、学校へ行けるといいね」

遺骨収集を終えて

坊沢

津谷 静造 (57)



津谷さんは、七月十五日から八月七日まで政府派遣フリーピン南部戦没者遺骨収集団の一員として、激戦地レイテ島で遺骨収集にあたりました。その模様を次のように寄稿してきました。

戦後三十年、長い間の念願

がかなえられ、今回フリーピン戦没者遺骨収集政府派遣団に参加してまいりました。七月十五日、羽田空港を遺族会、戦友会、厚生省職員、青年遺骨収集団員など九十五名と、一路マニラに向つて出発しました。

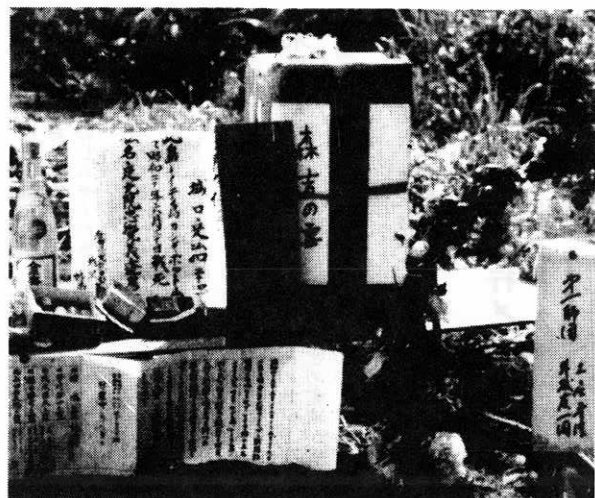
七月十七日十二時、三十年前戦場であったレイテ島タクロパン飛行場に第一歩を踏みしめる。

これが反対に、遺骨として迎えられる身であつたらと、胸の痛むのを感じる。

椰子の実、バナナ、パイナップル、ジャボン、トウモロコシ、サツマイモなど、三十年前の糧として命をつないだ思い出

が、今もありありと思ひ浮かんでくる。そして今日からは、一体でも一柱でも、一片でも多くの御遺骨を日本に奉持しなければと心に誓う。

七月二十七日、第一回目の焼骨を行なう。戦友よ、三十年の長い間どんなに淋しかったでしょう、ひもじかったでしょう。のども渴いたでしょう。今日は、暖かい秋田のご飯も持つてきました。秋田のお酒も背負ってきました。そしてふるさとの山、森吉山の雪も持つてきました。存分に食べてください。飲んでください。そして、私達と一緒に故郷へ帰ってくださいと、絶



▲出川町長から託された「森吉の雪」を霊前にささげる

唱しながら焼香を行ないました。

あの厳しかった戦争では、七万余の日本人の血を吸ったあの山野も、今日は鳥が鳴き、小豚が馳けめぐり、平和そのものです。この静かな平和を永遠にと合掌しながら、レイテ島をあとにしました。

催し物案内

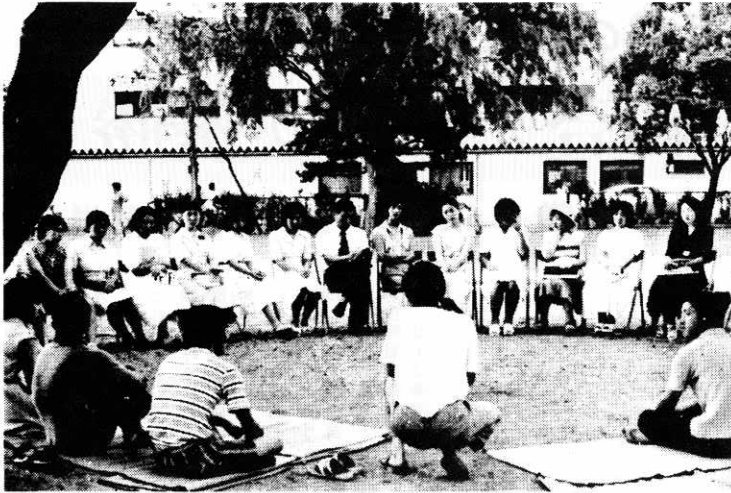
- 2日(火) 主婦の健康教室 体育館
- 4日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 5日(金) 少年スポーツ教室 バスケボール 体育館
- ダンス講習会、古文書・盆栽講座 公民館
- 6日(土) 日舞・陶芸・調理講座 公民館
- 9日(火) 主婦の健康教室 体育館
- 11日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 家庭電気講座 公民館
- 12日(金) 少年スポーツ教室 バスケボール 体育館
- ダンス講習会、生け花・地方史講座 公民館
- 13日(土) 書道・詩吟・文学フラワー・謡曲講座 公民館
- 13日(土) 書道・詩吟・文学フラワー・謡曲講座 公民館
- 15日(月) 敬老会 公民館
- 13日(土) 敬老会 公民館
- 15日(月) 敬老会 公民館

新しい門出祝い

定着した夏の成人式

しっかりと定着した夏の成人式が八月十五日午前十時から公民館で挙行され、男百五十四人、女百九十二人、計三百四十九人が新しくおとなの仲間入りをしました。

式典には、オープンシャツ した服装で出席、和服はゼロやワンピースなどリラックス でした。



▲ 出川町長を囲んで意見交換する「新成人の集い」

式典では、出川町長から「成人となったことを自覚し、立派な社会人として誇りをもつて生きてほしい」と式辞。成人を代表して仲谷茂好君が「自己の職務と行動に十分責任をもち、町や社会の発展に寄与する」と答辞。

式典後は、秋田魁新報社編集局長長森可昭氏の記念講演と中学時代の担任の先生を囲んでの座談会を行なった。

また、午後五時三十分からは、連合青年会が主催する「新成人の集い」に参加、出川町長を囲んで青年の生き方などについて語りあいました。

ここに、新しくおとなの仲間入りをした四人の方に抱負を記してもらいましたので紹介します。

こう考える

萬黒 佐藤一博



社会に出て日が浅いので、新社会人としての心境を述べてみたいと思います。

第一に「あいつは社会に役立たない人間だ」と言われないうことです。マスコミにもはやされなくてもいいから、自分なりに精いっぱい努力し

て行きます。

第二に、他人に迷惑をかけるような行為は絶対にさけない、自分の行動に責任を持つるようにならなければと考えています。

第三には、諸先輩の方々は新成人に過度な期待を持って欲しくなと思っています。

最後に、青春時代は若さでなければやれないことをしてあとで後悔しない生き方をしようと考えています。

懸命に生きたい

綴子 高橋周子



社会に出てから二年五か月「成人おめでとう」と言われるにはあまりにも幼い自分だと思ふ。社会に出てみれば今までの温室育ちを身にしてみ

動物園で生れて育ち、ある日突然生の世界に帰らなければならぬはめになった動物がいたとすれば、彼は自分一人で食物を探して生きていかなければならない。のたれ死にせよ今日一日を精いっぱい生きなければならぬ。学生生活から社会生活へはそんな風

だ。「年ばかり先回りして内容は全々」皆が言う。深くうなずいて「そうだ」と言う。

そんな時、ある人が言う。「なんでそんなご気にするか。おれは一日一日大事に生きてるから年月ばかり食っていると

は思わんなあ」私自身の甘さが恥しくて何も言うことがなかった。

行動しないて理屈ばかり並べたがる甘さがまだあるのだ。未熟者だが、一生懸命一日一日だいに生きていきたい。

新成人となつて

摩当 柳谷裕美子



私は、高校を卒業し、親もとを離れた時点で自分を考えなければと考へました。ですから、「成人となつて」と言

わられても、私自身には何も変わったところはありませんし、また今まで、親、師、友によって育てられた自分、そして少しずつ築き上げようとしていた自分の世界を変えるつもりもありません。ただこれからは周囲の中の自分の存在に責任をもたなければならなくなつたと感じま

す。自分の世界をもつた人間は私の理想でもあるし、好きな人間像でもあります。私自身もなかなか理想に近い人間になれたらと願ひ、そのように努力したいと思ひます。

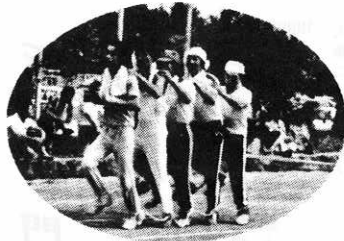
社会への脱皮

南鷹巢 柏木孝子



成人になることは、言い替れば幾度目かの脱皮のようなものではないでしょうか。理想的な脱皮は、脱皮するごとに充実して行き、蝶なら美しくなるのがほんとうでしょう。

でも現実にはそうあるのはむずかしいことだと思います。私達新成人はハタチを境に自然的に社会脱皮を行おうとしているのですが、漠然とつかみよの無い不安を感じ、「成人とはどんなか」「脱皮後の姿がどうあればいいの」か、いくら考えても理解できないままに成人になってしまいます。そんな中で、自分への責任と自覚を強く持つて、社会参加の第一歩を踏み出し、自身に嘘のない人生を送りたいと思ひます。



猛暑の中で町民体育祭

総合で坊沢が優勝

応援賞は栄、マナー賞は鷹巣

恒例の第十三回町民体育祭は八月十七日、町営グラウンドに約三千五百名が参加して盛大に行なわれました。猛暑の中、各選手、応援団とも暑さをふっとばす熱戦を繰り広げましたが、結局、各部門に上位入賞した坊沢地区が優勝を飾りました。

また、百選手権では佐藤要君(綴子)が十一秒、千五百は福原正巳君(栄)が四分二八秒で、走幅とび男子は高橋俊晴君(綴子)が六十一で、女子は湊啓子さん(同)

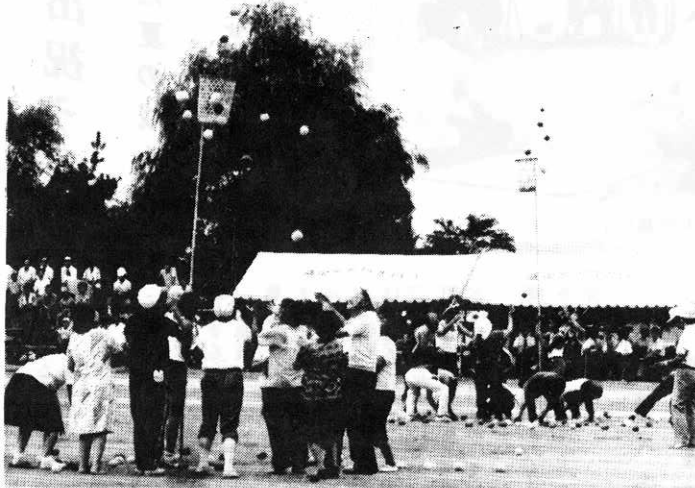
恒例の第十三回町民体育祭が四日〇一でそれぞれ優勝したほか、応援賞は栄地区、マナー賞は鷹巣地区にそれぞれ贈られました。

各部門の成績は次のとおりです。

【生徒の部】▽一位||鷹巣 A 坊沢各70点 ▽沢口||三位66点

【青年の部】▽一位||栄82点 ▽二位||綴子73点 ▽三位||坊沢66点

【婦人の部】▽一位||沢口78点 ▽二位||綴子72点 ▽三位||坊沢64点



▲玉入れ競争の熱戦

【壮年の部】▽一位||坊沢94点 ▽二位||沢口80点 ▽三位||綴子76点

【総合成績】▽一位||坊沢二九四点 ▽二位||沢口二八〇点 ▽三位||綴子二六三点

▽四位||栄二五六点 ▽五位||七日市一九四点 ▽六位||鷹巣A一九二点 ▽七位||七座一〇三点 ▽八位||鷹巣B一〇二点

【応援賞】▽一位||栄 ▽二位||坊沢 ▽三位||鷹巣

【マナー賞】▽一位||鷹巣 ▽二位||沢口 ▽三位||七座

【野球の部】▽優勝||坊沢

▽準備賞||綴子

スポーツ栄光賞 五氏、三団体に

四十九年度におけるスポーツ大会で、優秀な成績をあげた次の個人、団体にスポーツ栄光賞が、町民体育祭の開会式で出川町長から贈られました。

【個人】

▽佐藤要(綴子) || 全県都市対抗陸上競技大会百選、第二十五回県民体育大会陸上競技大会百選優勝 ▽高橋俊晴(綴子) || 全県都市対抗陸上競技大会三段跳、第五回東北選

【団体】

▽鷹巣町陸上競技協会男子チーム || 第四回県民スポーツ大会市町村対抗四百リレー優勝 ▽鷹巣町相撲協会チーム || 第四回県民スポーツ大会優勝 ▽鷹巣町剣道協会チーム || 第四回県民スポーツ大会優勝

健康大学開設案内!!

健康な町づくりの一環として、「鷹巣町健康大学」を開設します。

場所は公民館で行ないますが、九月二十六日と十月九日は野外でも行ないます。健康管理のためにも、より多くの受講をお待ちしております。

日程および講座内容は、次のとおりです。()内は講師。

9月12日(金) ▽午後1時~1時30分||開講式
▽午後1時50分~4時||

家庭におけるアンマ、マッサージ(県立盲啞学校 教員)

9月26日(金) ▽午前10時~午後2時30分||野外レクリエーション(茂泉 陽子秋大助教授)

10月9日(木) ▽午後1時~2時20分||糖尿病と食べものの関係(米内沢 公立病院長)

▽午後2時30分~4時||野草の効用(松山忠一 秋田山草会長)

10月24日(金) ▽午後1

時~1時40分||食品公書について(鷹巣保健所西島課長)

▽午後1時50分~4時||栄養食の作り方(鷹巣保健所栄養士中島千夜)

11月5日(水) ▽午前10時~11時||性を考える(佐藤恰秋大教授)

▽午前11時20分~午後3時||血圧、尿検(鷹巣保健所所長ほか)

11月12日(水) ▽午後1時~2時40分||家庭の病人を楽に休ませる方法(日赤秋田県支部野村康子)

閉講式

繰り返すな死亡事故

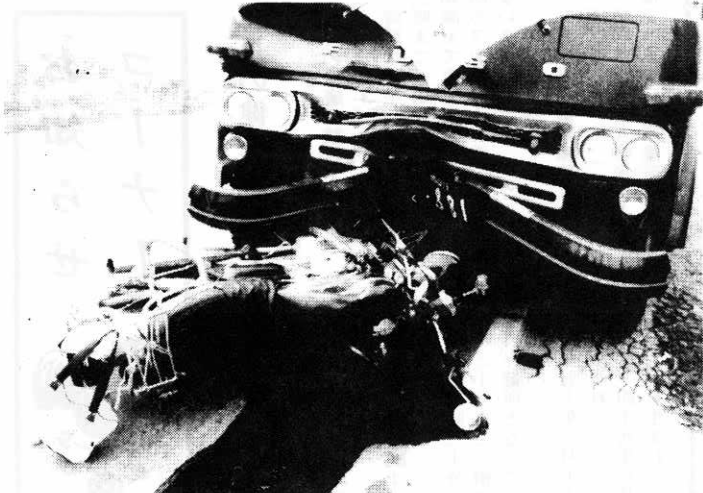
三九一日でストップ

昨年の七月十八日、深関の国道で居眠りのタンブとトラックが正面衝突し、一人が死亡して以来、死亡事故ゼロの快記録を続けていましたが、去る八月十三日早朝、昨年と同じ深関の国道で、広島県の大塚町の秋田市の高校生がセンターラインを越えて正面衝突、高校生が頭を強く打って即死。本町での死亡事故ゼロの記

録は、一年と三十六日(三百九十一日)でストップしてしまいました。また、三日後の十八日午後二時四十五分頃には綴子下町の町道で、青森県から遊びに

きていた小学校一年の男の子が普通乗用車にはねられて死亡、一人が重傷を負うという事故がありました。運転者の安全義務違反と子どもたちの飛び出しが原因といわれています。

本町に痛ましい事故です。私たち全町民は、このような痛ましい事故が二度とおこらぬよう、ひとりひとりが気持を引き締め、交通安全運動を更に推進することを誓い合います。



▲8月13日、深関の国道での死亡事故。二度と繰り返すまい!!

全国中学バレー大会

鷹中三回戦で惜敗

八月十四日から三日間、東京都体育館と駒沢体育館を会場に行なわれていた全国大会に、秋田県代表として出場していた鷹中男子バレー部は、健闘しましたが三回戦で惜しくも敗れました。

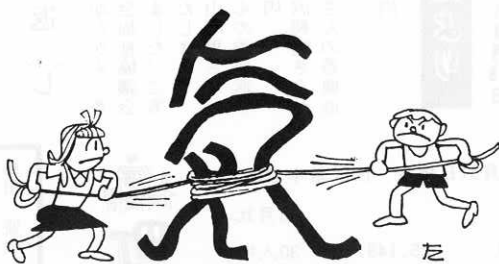
シード校の鷹中は、二回戦で東京の福生二中と対戦、一セット15対8、二セットは11対15と許しましたが、三セットは15対10と勝ち、三回戦にすすみ、大阪代表の北手島中と対戦しましたが、一・二セットとも6対15とストレート負けを喫し、惜しくもベスト8入りはできませんでした。しかし、大型選手の多いバ

本町にゴルフ場オープン!!

蟹沢山の一角に造成工事をすすめていた鷹巣カントリークラブのゴルフ場が完成、去る八月一日にオープンしました。

同ゴルフ場は、一昨年から蟹沢山の一角、約50haを造成していたもので、コースは

広報まんがキャンペーン



夏休み終る ゆるんだ心をシャッキリさせよう

九ホール。クラブハウスは四百九十五平方メートルで、食堂、浴場、ロッカー室などが完備されており、クラブハウスからは鷹巣盆地が一望できる。同ゴルフ場は、山岳の起伏と丘陵の平垣がミックスされ、しかも林間コースの特色をそなえているため、ゴルフファアからは雄大なスケールのゴルフ場と好評を得ており、本町のあたらしい名所のひとつになりそうです。

ゴミ処理のお願い

▽ゴミ集積所に収集日以外、

テレビやビンなどが出ております。このような物は、不燃物の収集日に出してください。

▽流しの残飯等を出す場合は、よく水を切ってから出してください。

▽営業用廃棄物は、個人で理立地に運んで処理してください。

▽埋立地にゴミを運搬する場合は、ゴミが車から落ちないようにシートか、網をかけて運搬してください。

▽ゴミを集積所に出す場合は、ゴミが散乱しないよう、袋かポリ容器に入れて出してください。

お知らせ コーナー



この欄はあなたへの
通知です。
かならず目をとおして
ください。

九月の健康相談

九月の健康相談は、十日と二十四日です。

時間は、午前十時から午後三時まで、鷹巣町公民館保健相談室で血圧測定やムシ歯予防のフッ素イオン導入法を行います。

◇ 九月の妊婦健康相談は、十六日です。
◇ 時間は、午前九時半から午後三時まで、相談場所は鷹巣

町公民館保健相談室です。希望により血圧測定や検尿、衛生教育も行なっております。なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

五十一年歌会始め

お題は「坂」と決まる

九月の乳児健康相談は、四日と十八日です。

時間は、十二時三十分から午後一時三十分まで、相談場所は鷹巣保健所となっております。

◇ 四日は、五十年二月生まれと五月生まれ。
◇ 十八日は、四十九年八月生まれと十一月生まれ。

昭和五十一年歌会始めのお題および詠進歌の詠進要領が、次のとおり決まりました。

◇ お題「坂」(のぼりくだりのある道ですが、歌句には地名としての坂道、あるいは抽象的に「人生の坂道」などとしてよみ込むことも差し支えありません。
◇ 詠進歌の詠進要領
① 詠進歌は一人一首とし、未

▽ 注意事項
次の場合には、詠進歌は失格となります。
① 一人で二首以上詠進した場合
② 詠進歌がすでに発表された場合
③ 詠進歌を歌会始めの前に発表した場合
④ その他詠進要領によらない場合
▽ 詠進の期間
九月一日から十月十一日までとし、郵送の場合は消印

扇田橋を通行止

国道一〇三号線大館市と比内町との境に架る、扇田橋修繕工事のため、八月二十五日から九月三十日まで、車輛が全面通行止めとなります。

扇田橋手前から一方通行で曲田橋に出る迂回路があります。が、十和田方面へ直行の場合は、田代町岩瀬と比内を結ぶ線を利用すると便利です。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

▽ 東仲通り 嶋山昭男さんから亡父福治さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
▽ 綴子大堤 三沢利昭さんから亡父友之輔さんの香典返し 一〇、〇〇〇円

慶弔だより

8月1日～8月15日
誕生おめでとうございます
花田朋美(重男一女) 末広町

第2回写真コンテスト

「第2回写真コンテスト」を、下記要領で行ないます。
あなたの傑作をふるってご応募ください。

記

※ 課題=子ども
赤ちゃんから小学校6年生頃までの子どもの生活状態をとらえたもの
むずかしい芸術写真でなく、明るさのある写真を求めます。

※ 応募締め切り=11月29日
※ 送り先=役場総務課広報係
※ 賞=特選1点、入選5点に賞状と賞品 それに応募者全員に粗品を進呈します。
※ 発表=昭和51年1月1日付広報の紙上および1月15日号に写真を掲載します。
※ 大きさ=キャビネ判以上の白黒またはカラー
※ その他=応募作品は、未発表のものに限る。1人何点でも結構です。作品には住所、氏名と若干の説明を添付してください。
応募作品は、広報掲載や役場町民ホールに展示させていただきます。

(7月31日現在 住民基本台帳)

	前月比	増減
総人口	25,149人	30人増
男	12,218人	12人増
女	12,931人	18人増
世帯数	6,899世帯	19世帯増



おこやみ申しあげます

奈良田ア子(83) 下町
三沢 鉄郎(80) 田中
佐藤 エツ(80) 街道町
佐藤 ナヨ(80) あげぼの
藤田 盛蔵(65) 前山

小河 邦雄 脇神
佐藤 弘子 羽立
大河 正 太平町
大川 百合子 黒沢

二人の前途を祝福いたします

沢藤啓太(正二郎二男)高野尻
佐藤美奈子(富雄長女)湯ノ倍
伴 光(実二男)太平町
福田尚子(均二女)東旭町
佐藤嘉孝(嘉雄長男)舟場